

# つちうら ふれあいネットワーク 社協だより

No.151



誰もが安心して暮らせる  
福祉のまちづくり

『社協』は社会福祉協議会の略称です。

2016.6.15



## 第26回 かすみがうらマラソン 兼 国際盲人マラソン大会



企業ボランティア活動（荷物預かり所）

去る4月17日（日）、「第26回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会」が、大勢の参加者のもと盛大に開催されました。

前日の準備を含め、総勢541名のボランティアが大会の運営にご協力くださり、大いに盛り上げてくれました。

### おもな内容

- 平成27年度社会福祉協議会事業報告・資金収支決算
- 平成28年度土浦市社会福祉協議会会員募集
- 出前講座のご案内
- まごころコーナー
- 各事業参加者募集
- 土浦朗読の会助成事業報告
- 生活相談係からのお知らせ
- 障害児(者)育成会会員募集
- 新治総合福祉センターからのお知らせ
- ふれあいネットワークについて
- 障害相談係からのお知らせ

### 急募！ 福祉職員！

職種 ▶ 看護職員・介護職員(嘱託)  
 仕事 ▶ 障害者施設における介助全般等  
 給与 ▶ 看護職員 / 195,000円 (昇給あり)  
 介護職員 / 154,000円 (昇給あり)  
 資格 ▶ 看護職員 / 正・准看護師免許  
 介護職員 / ホームヘルパー2級等  
 ※いずれも要普通自動車免許(AT限定可)  
 待遇 ▶ 各種保険加入  
 勤務 ▶ 8:30 ~ 17:15 完全週休2日制  
 備考 ▶ 勤務地は土浦市大和町地内

応募 ▶ 電話連絡の上、履歴書(写真貼付)をご郵送ください。面接日をご連絡致します。

社会福祉法人 土浦市社会福祉協議会

〒300-0036 土浦市大和町9-2 ウララ2ビル5F  
<http://www.doshakyo.co.jp> TEL 029-827-1123

この広報紙は、市民の皆様から寄せられた社協会費と赤い羽根共同募金の配分金により発行しております。

# 平成27年度事業報告

地域福祉活動の推進と充実のために各種事業を展開してまいりました。  
 主な事業を次のとおり報告いたします。

## 地域福祉グループ

### ◆福祉施設等の管理運営

社会福祉センター、老人福祉センター「湖畔荘」・「うらら」2施設と、新治総合福祉センターの管理運営をしました。

### ◆社会福祉協議会支部

中学校区ごとに設置されている社協支部では、身近な相談窓口としての機能と、地域の皆さんと連携しながら各地区の要支援者に対する各種支部事業を展開いたしました。

### ◆おもちゃライブラリー

障害のあるお子さんとその保護者同士のふれあいの場として、おもちゃライブラリー事業を実施しました。ボランティアによる手作りのおもちゃを通して、子どもたちの発達を促進し、また、子育ての情報交換の場を提供しました。

### ◆災害ボランティアセンター関係事業

被災地支援として、台風18号による水害に遭われた常総市にボランティアバスを3日間運行、延べ43名のボランティアが参加し、家屋の泥

かきや清掃などの活動を行いました。また、9月から11月にわたり常総市災害ボランティアセンターへ延べ82名の職員を派遣、センター運営の支援を行いました。



### ◆高齢者生きがい健康づくり

高齢者スポーツ大会などのスポーツ部門、芸能部門、趣味部門など多様な事業を展開し、高齢者の生きがいづくりと健康の増進を図りました。



### ◆障害児(者)交流キャンプ

障害のある方とその家族が多くの仲間と交流し、相互の理解を深めることを目的として、総勢145名で山梨方面へ行き、楽しく充実した時間を過ごしました。

### ◆青少年ワークショップ

市内在住・在学の高校生・大学生・専門学生を対象に、福祉施設での体験活動を通して福祉に対する理解を深めるとともに、思いやりの心をもった豊かな人間性の育成を目的として開催しました。

### ◆ひとり親家庭親子ふれあいの集い

土浦市母子寡婦福祉連絡協議会との共催で、親子のふれあいの時間をもち、ひとり親家庭の相互の親睦を深めるため、日帰りバス旅行を開催しました。

### ◆ひとり親家庭

◆ひとり親家庭  
 新入学児童お祝いの集い  
 土浦市母子寡婦福祉連絡協議会との共催で、小学校に入学するひとり

親家庭の児童に、入学祝い品を贈呈し、お祝いの集いを開催しました。カエルの人形劇を鑑賞し、挨拶や、交通安全について楽しく学ぶことができました。

### ◆福祉ふれあい体験

市内在住の小学生(3～6年生)を対象に、社会福祉への関心を高めるため、盲導犬センターの見学・体験を行いました。盲導犬とのふれあいを通して、目の不自由な方の生活のしづらさや、盲導犬の役割を学ぶことができました。



### ◆ふれあい・いきいきサロン

住み慣れた地域での仲間づくりや世代間の交流を通して、地域の方々の健康維持や生活意欲の向上などを

目的に、各町内でサロン活動が行われました。

◆ボランテニアセンター

ボランテニア活動推進のため、ボランテニアに関する様々な相談や調整を行いました。点字点訳・音訳・傾聴・手話・要約筆記・ガイドボランテニアなど、地域を支える各種ボランテニアの養成講座を開催しました。

◆ファミリー・サポート・センター

保育施設への送迎や学童保育終了後の預かり、産前産後の家事援助など、市民同士が助け合うボランテニア活動により子育て支援をしました。

◆友愛サービス

「市民同士の助け合い」による家事援助（食事の支度・洗濯・掃除・買い物）等のサービスを提供しました。利用会員の皆さんから、ボランテニアの協力会員の方々の活動に感謝をいただいています。

◆障害者自立支援センター

障害のある方の日中活動の場として、創作活動や機能訓練などの各種福祉サービスを提供し、自立生活が送れるよう支援しました。

◆福祉の店ポプラ

市内外の福祉施設で障害者の方々が手作りした作品等を常設展やイベントへの出張販売で販売しています。昨年9月には、土浦市役所新庁舎

オープンにあわせて、ウララ2ビル4階からウララビル市民エリア1階に移転しました。



ふくしの相談グループ

◆地域包括支援センターうらら

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護予防のための事業やケアマネジメントを実施するとともに、高齢者に関するさまざまな相談に応じました。

◆ふれあいネットワーク

要支援者を地域で支え合うため、医師、民生委員児童委員、保健所、訪問看護ステーション、ボランテニアなど関係機関との連携し、地域ケア体制の拡充を図りました。

◆基幹相談支援センター

障害のある方やご家族からの生活全般の相談に応じて福祉制度の情報提供や、福祉サービス利用に関する、総合的・専門的な支援を行いました。

◆障害者虐待防止センター

障害者への虐待の早期発見と虐待を未然に防ぐため、虐待に関する通報や相談を、専用回線で24時間365日体制で受け付け、関係機関と連携して支援を行いました。

◆生活困窮者自立支援事業

生活困窮者からの相談に応じて、それぞれの自立につながるよう、就労支援その他必要な情報の提供及び助言を行いました。

◆成年後見センターつちうら

成年後見制度に関する相談に応じ、申立て手続き支援等を行いました。また、市民後見人養成講座を開催しました。

◆日常生活自立支援事業

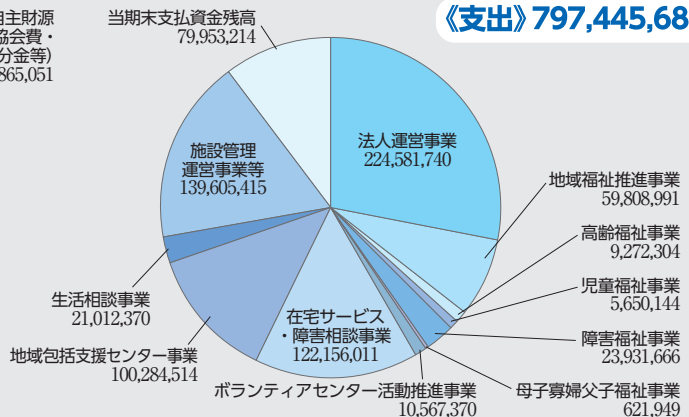
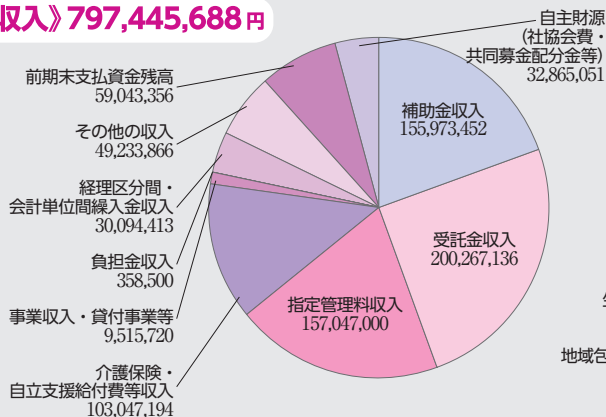
認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続き、日常的な金銭管理などを行い、日常生活を支援しました。



平成 27 年度 社会福祉協議会 (社会福祉事業・公益事業) 資金収支決算

《収入》797,445,688 円

《支出》797,445,688 円



# 平成28年度 社協会費へのご協力をお願い

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、土浦市社会福祉協議会（略称：社協）は日々活動しています。皆さまからお預かりした会費は、社協が実施する地域福祉事業の大切な財源となっています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

## 高齢者の方々への支援

ひとり暮らし高齢者や高齢世帯等へのふれあい電話訪問サービス事業や、高齢者の生きがい健康づくり事業等に

## 障害のあるの方々への支援

障がいをもつお子さんに適したおもちゃの貸出や製作をおこなう「おもちゃライブラリー事業」や各団体への助成等に

## 子育て家庭や子どもへの支援

ひとり親家庭の親子の絆を深めることを目的とした「親子ふれあいの集い」、車いす体験や高齢者疑似体験等の「児童福祉体験講座」等に

## 地域福祉活動の推進

社協支部（市内各中学校区ごとの公民館に設置）による福祉活動の展開等に

## ボランティアの育成と支援

点字点訳、音訳、傾聴等のボランティア養成講座開催、ボランティアの相談、調整、派遣等に

## 市社協事業の推進

地域福祉活動計画策定、法人運営に要する諸経費等に

「社協会費」は、社会福祉協議会活動の充実を図り、その結果、地域住民の福祉向上につなげる趣旨のものであり、募金や寄附金と同様、任意に基づくものです。



会費（1世帯1口 500円）は、自治会・町内会を通じてお願いしております。  
平成27年度皆さまからお寄せいただいた会費は、13,979,510円でした。  
ご協力ありがとうございました。

## 出前講座のご案内

皆さまのご要望に応じて、社協職員が講師として伺います。地域での集まりや学校の授業等にどうぞご利用ください。講座の内容等詳細につきましては、お問合せください。

（ ）内は所要時間の目安です。

社会福祉協議会ってなに？  
(30～60分)

地域の拠点 ふれあいいきいき  
サロンをつくろう (20～40分)

ふれあいネットワークって  
なに？ (30分)

みんなで学ぼう！  
成年後見センターのしくみ  
と活用法

ご存知ですか？地域包括  
支援センター (60分)

(30～60分)

地域福祉活動計画とは？  
(60分)

高齢者疑似体験  
(90分)

赤い羽根  
共同募金

## ひとり親家庭 「親子ふれあいの集い」日帰りバス旅行

- とき** 7月2日(土)  
8:15~17:00ごろ
- ところ** 鉄道博物館(埼玉県さいたま市)ほか
- 対象者** 市内に居住するひとり親家庭の親子  
(中学生まで)
- 定員** 25組(申込み多数の場合は抽選)
- 参加料** 【土浦市母子寡婦福祉連絡協議会会員】  
大人 500円 中学生以下300円  
【一般】  
大人1,000円 中学生以下500円  
※3歳児未満無料
- 申込方法** 6月24日(金)までに電話でお申込みください
- 申込期間** 6月15日(水)から6月24日(金)まで



赤い羽根  
共同募金

## 青少年ワークショップ (青少年福祉体験) 参加者募集

青少年ワークショップに参加し、福祉活動を通して、誰もがもっている思いやりの気持ちを自然に行動に移してみませんか!

- 日程** 事前研修 8月3日(水)  
ワークショップ  
8月17日(水)~19日(金)
- 活動内容** A~Dのうち1施設の活動を体験する  
A: 保育所での活動体験  
B: 障害児通所施設での活動体験  
C: 高齢者通所施設での活動体験  
D: 障害者通所施設での活動体験
- 対象者** 市内在住、在学の高校生・大学生・専門学校生



- 定員** 40名(申込み多数の場合は抽選)
- 参加費** 無料(昼食実費負担あり)
- 申込方法** 7月12日(火)までに電話でお申込みください  
申込みの際、住所・氏名・年齢・電話番号(携帯)・学校名(学年)・希望コース(第2希望まで)をお知らせください。

# 福祉の まちづくり係 から

赤い羽根  
共同募金

## 福祉ふれあい体験 【日帰り】

- とき** 第1回: 7月 9日(土)  
第2回: 7月29日(金)  
第3回: 8月 4日(木)
- 見学・体験先** 東日本盲導犬協会・栃木県防災館  
(栃木県宇都宮市) ※福祉バス利用
- 内容** 盲導犬センター・防災館の見学・体験
- 対象者** 市内に居住する小学3年生~6年生  
※児童1名に対し保護者1名の同伴可
- 定員** 各回20組40名(申込み多数の場合は抽選)
- 参加料** 500円
- 申込方法** 往復はがきに児童の氏名(ふりがな)・性別・生年月日・住所・電話番号・学校名・学年・保護者の氏名・緊急連絡先・保護者の同伴の有無を記入の上、お申込みください。  
※はがき1枚につき申込みは1人のみ
- 申込締切** 6月30日(木)【必着】

赤い羽根  
共同募金

## 障害児(者) 交流キャンプ 参加者募集

- とき** 8月21日(日)~22日(月)(1泊2日)
- ところ** 群馬県猿ヶ京温泉方面  
※行き先は都合により変更になる場合があります。
- 対象者** 市内在住または市内の障害者団体・施設・学校に所属している障害児(者)とその保護者および家族など
- 定員** 120人(先着順)
- 参加料** 障害児(者) 2,000円  
保護者 13,000円
- 申込締切** 7月8日(金)
- 申込方法** 参加費を添えて社会福祉協議会へ直接



申込み・問い合わせ先

福祉のまちづくり係  
(☎ 821-5995)

生活相談係からのお知らせ

## ◆子どもの学習支援ボランティア募集◆

土浦市暮らし自立サポートセンターでは、生活での困りごとや経済的な不安を抱えている生活困窮者世帯の相談支援を行っています。

その一環で、市内の生活困窮者世帯の小学4年～6年生を対象に、子どもの学習支援教室を市内3か所に開設する予定です。

開設に伴い、宿題や課題のわからないところを教え、話し相手になってもらえるボランティアを募集します。あなたの時間を子どもたちの学習支援に活かしてみませんか。

**募集対象：**18歳以上で、子どもの学習支援に関心のある方  
児童福祉や教育に関わったことがある方は特に歓迎します。

**活動日時：**毎週（土）もしくは（日）の日中  
2時間程度  
※曜日・時間についてはご相談ください。

**活動場所：**土浦市内3か所の学習支援教室にて  
今年夏から実施予定です。

※詳しくは、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

生活相談係 土浦市暮らし自立サポートセンター  
専用ダイヤル 029-822-7610

## ◆成年後見センターつちうらのご案内◆

「成年後見センターつちうら」では、認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方の権利や財産を守るための成年後見制度に関するご相談をお受けいたします。

【問い合わせ先】

生活相談係 成年後見センターつちうら  
専用ダイヤル 029-821-1152

「成年後見センターつちうら」がお手伝いできること

- ①成年後見制度に関する相談及び手続き支援
- ②法人後見受任事業
- ③日常生活自立支援事業
- ④成年後見制度に関する広報啓発活動  
(出前講座や講演会の開催等)

※詳しくは、お問い合わせください。

## 新治総合福祉センターからのお知らせ

# 「こどもフェスティバル」を開催しま〜す!

**日時** 7月16日（土）10：00～13：00

**場所** 新治総合福祉センター内

**内容** 模擬店：カレーライス（一皿200円）、かき氷・ポップコーン（各100円）

ゲーム：輪投げ、ボーリング、玉投げ、スカットボール、射的

体験：パーラーピース、ニードル、折り紙であそぼ!



問い合わせ先

新治総合福祉センター  
土浦市沢辺1423-1 ☎862-3522



おじいちゃん・おばあちゃん達と一緒に遊びにおいでよ！待ってま〜す。

## ふれあいネットワーク

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らすために、中学校区を「福祉コミュニティ圏」ととらえ、小地域に福祉の窓口と総合支援体制を整備しています。

相談支援においては地域住民と保健・福祉・医療の専門スタッフが、「ふれあい調整会議」で要支援者や家族の課題を解決するために話し合いを行っています。

※ふれあい調整会議では、匿名で会議を行うため、相談者の秘密は守られます。



二中地区ふれあい調整会議



## ふれあい調整会議委員の藤原秀臣委員の声 (土浦協同病院名誉院長)

ふれあいネットワークは専門的な知識を持った方がそれぞれの視点で問題をとらえているため、地域での困りごとを解決するために画期的な仕組みだと思えます。

地域の様々な問題の解決に向け、支援していくことは大変な仕事だと思えますが、私は医学的な視点から問題をとらえ、地域に協力できればと思っています。



## 障害相談係からのお知らせ

## 基幹相談支援センター

障害のある方やそのご家族等を対象に、福祉制度やサービスの情報提供、生活全般の総合的・専門的な相談支援を行っています。

障害相談係（基幹相談支援センター）☎821-5995

## 障害者虐待防止センター

障害者虐待が疑われる場合の通報や相談受付、市と連携した障害者の安全確保及び虐待解消に向けた支援、虐待防止に関する普及啓発活動等を行っています。

通報・相談は24時間365日受付です。（夜間・休日は市内の社会福祉法人で受付）

障害相談係（障害者虐待防止センター）☎824-1650

## 4月1日から『障害者差別解消法』がスタートしました。

※ 障害のある人への「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」が差別になります。

相談窓口は市障害福祉課（☎826-1111）と基幹相談支援センターです。

# 善♥意♥銀♥行

# まごころコーナー

(敬称略)

ご協力ありがとうございました。

平成28年2月1日 ~平成28年4月30日

## 金 銭

- ・一中地区民生委員児童委員協議会 3,555円
- ・コーヒーハウスマル 代表 滝智一 15,350円
- ・宗教法人海蔵寺 住職 大嶋庄二 100,000円
- ・一般社団法人 土浦市観光協会 31,200円
- ・水越博 283,000円
- ・日立建機(株) マイカー自治会 100,000円
- ・高橋健一 100,000円
- ・土浦手話の会 3,450円



▲宗教法人海蔵寺 住職 大嶋庄二



▲日立建機(株) マイカー自治会

## 物 品

- ・廣瀬彩子
- ・井浪隆範
- ・一中地区民生委員児童委員協議会
- ・茨城県県南生涯学習センター
- ・県南地区年金受給者協会
- ・六中地区民生委員児童委員協議会
- ・塚田陶管株式会社
- ・都和中地区民生委員児童委員協議会
- ・永国東社会学級
- ・有限会社 土浦高野保険センター
- ・飯村忠義
- ・土浦協同病院 看護師会
- ・土浦訪問看護ステーション
- ・エキスパート株式会社
- ・四中地区民生委員児童委員協議会
- ・佐野好男
- ・中村南三丁目かけはし会



## 善意銀行からのお知らせ

善意銀行活動は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるため、市民の皆様の温かいご芳志をお預かりし、福祉の援助を必要とされている方々や当協議会が推進する地域福祉事業のために払出しをさせていただいております。

平成27年度は、当協議会の右記の事業に払出しをさせていただきました。

事業名	決算額
老人福祉活動事業	1,344,730 円
障害者・児福祉活動事業	96,563 円
児童・青少年福祉活動事業	0 円
母子・父子福祉活動事業	22,086 円
福祉育成・援助活動事業	860,000 円
ボランティアセンター活動推進事業	579,690 円
交通遺児等福祉基金事業	0 円
その他(指定寄付)※	694,881 円
合 計	3,597,950 円

※指定寄付につきましては、預託者より指定された事業及び団体に払出しをさせていただきました。

## 育成会の会員を募集しています。(一口1,000円から)

趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

### ◆◆◆◆ 土浦市障害児(者)育成会 ◆◆◆◆

障害児(者)を取り巻く社会環境が大きく変化し、さまざまな福祉課題の取組が求められているところから、障害児(者)団体等の活動を支援するとともに、広く市民の皆さまの理解を深め、障害児(者)及びその家族の福祉の推進を図ることを目的として、民生委員児童委員が自発的に支援活動を行う会として設立したものです。

障害福祉の推進のために福祉団体の活動支援や次のような事業を展開しています。

#### 教育研究会特別支援研究部

市内小中学校合同の校外学習など、日頃、一堂に会し活動することが少ない児童・生徒が、共に活動して交流を深めるための事業

#### 障害児(者)交流キャンプ

障害児(者)が多くの中園と夏の2日間を楽しく過ごすとともに、親が子の問題や日常生活の悩みを話し合いながら、相互交流の理解を深めるための事業

#### 障害児(者)を励ます新年の集い

新たな年の輝かしい門出に当たり、障害児(者)が社会の一員である自覚を持つとともに、その家族が一堂に会して交流を深めるための事業

#### 各種団体の研修及びレクリエーション

障害児(者)団体相互の交流を図るための事業

【お問合せ先】土浦市障害児(者)育成会事務局(福祉のまちづくり係内) ☎821-5995

## 土浦朗読の会 助成報告

土浦朗読の会では、公益財団法人車両競技公益資金財団の平成27年度助成金の交付を受けました。それにより平成28年3月2日にパソコンなど音読活動に必要な機材一式を購入することができました。不足していた機材を補うことができ、おおいに活動の助けになっています。



## お問い合わせ・お申込みは 土浦市社会福祉協議会

〒300-0036 土浦市大和町9-2  
土浦市総合福祉会館内(ウララ2ビル4階)  
TEL 029-821-5995(代) FAX 029-824-4118  
E-mail info@doshakyo.or.jp  
http://www.doshakyo.or.jp

### 編集後記

水無月に入り、各地で鮮やかな紫陽花が梅雨を彩っています。お出かけ前には、天気情報必見となりますが、雨の多いこの時期にしか味わえない楽しさもあります。季節を感じ、霞ヶ浦総合公園で爽やかなウォーキングはいかがですか？